

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 宇佐市社会福祉協議会

【事業実施概要】 2

【法人運営部門】 3～7

【地域福祉部門】 8～15

【在宅福祉部門】 16～18

【資料】 19～25

【事業実施概要】

我が国では、団塊世代が高齢期を迎え、世界に類を見ない速さで高齢化が進行しています。要介護高齢者や一人暮らし高齢者の増加、無縁社会の風潮が浸透する中で、虐待、孤立死、閉じこもりなどの問題も表面化してくるなど、地域を取り巻く環境は、とりわけ複雑化、多様化しています。

このような社会の変動の中、本会では地域福祉推進のために重点項目を8点掲げ「だれもが安心して暮らせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」を推進してまいりました。

法人運営部門では、本会の使命に沿うよう各部門の事業遂行に必要な基盤整備を行うとともに、「社協だより」や「ホームページ」など広報や啓発活動を充実させ、常に最新の状況を公開し、社協と住民の顔の見える関係づくり及び知名度の向上に努めました。

地域福祉部門では、地域福祉を総合的に推進するため、高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、ボランティアセンター事業、権利擁護人材育成事業にて市民後見人養成講座の実施及び生活困窮者の支援を行いました。また、高齢者や認知症を患う方が住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、認知症初期集中支援チームによる支援や、認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーターによる地域作りに努めました。

さらに地域の繋がりを強化するため「高齢者ふれあいサロン」「認知症予防教室」「地域に根ざした介護予防教室」など地域住民が主体となる地域に根ざした活動を展開してまいりました。

子育て支援部門では、核家族化や少子化が進行する中で、子どもが心身ともに健やかに成長できるように、また子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み育てることができるよう、事業を充実させました。

在宅福祉部門では、質の高いサービスの提供に努めました。利用者の満足度を常に意識し、また新しい制度にスムーズに対応できるよう、技術の向上を図り、関係法令を遵守したサービスの提供を行いました。

また、平成30年度は7月西日本豪雨災害の発生、9月には北海道胆振東部地震など大規模災害が頻発し、日本各地に甚大な被害をもたらしました。近年の自然災害による被害規模は、想定を超えることが多くなり、加えて、南海トラフ地震の発生が懸念されていることから、自然災害に対する備えがますます重要になってきました。本会の災害時における役割の重要性についても、今まで以上に問われています。発災時の対策について災害ボランティアネットワーク会議を開催し災害ボランティアセンター運営訓練や講演会を通し、災害時の対策を検討、学習を行いました。今後、市内での発災時に備え、迅速な復興対応ができるように体制を整備してまいります。

災害対策と合わせて、総合的に地域福祉の推進に努めた1年でありました。

【 法人運営部門 】

1. 理事会の開催

【第1回理事会】 平成30年6月14日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事8名出席 監事2名出席

報告第1号 会長の職務の執行状況について
第1号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会事業報告について
第2号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会決算について
第3号議案 評議員候補者の推薦について
第4号議案 平成30年度第1回評議員会の招集について

【第2回理事会】 平成31年3月13日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
理事10名出席 監事2名出席

報告第1号 会長の職務の執行状況について
報告第2号 職員給与規程の一部改正について
第1号議案 平成30年度宇佐市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
第2号議案 平成31年度宇佐市社会福祉協議会事業計画(案)について
第3号議案 平成31年度宇佐市社会福祉協議会資金収支予算(案)について
第4号議案 宇佐市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について
第5号議案 宇佐市社会福祉協議会福祉バス運行規程(案)について
第6号議案 宇佐市社会福祉協議会ハラスメント防止規程(案)について
第7号議案 平成30年度第2回評議員会の招集について

2. 評議員会の開催

【第1回評議員会】 平成30年6月27日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員17名出席 監事1名出席

第1号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会事業報告について
第2号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会決算について

【第2回評議員会】 平成31年3月27日 午前10時
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室
評議員15名出席

報告第1号 職員給与規程の一部改正について
第1号議案 平成30年度宇佐市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
第2号議案 平成31年度宇佐市社会福祉協議会事業計画(案)について
第3号議案 平成31年度宇佐市社会福祉協議会資金収支予算(案)について
第4号議案 宇佐市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について

第5号議案 宇佐市社会福祉協議会福祉バス運行規程(案)について

第6号議案 宇佐市社会福祉協議会ハラスメント防止規程(案)について

3. 監事会の開催

【監査】 平成30年6月5日 午前10時

宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

4. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 平成30年7月20日 午前10時

宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

5. うさ福祉フェスタの開催

宇佐市ボランティア連絡協議会との共催により、福祉事業に功績顕著な個人、団体等の表彰とボランティアの活動発表及び認知症予防啓発講演会を実施しました。

(1) 期 日 平成30年11月17日(土)

(2) 会 場 安心院文化会館

(3) 参加者数 300名

(4) 概 要 (式典、活動発表、講演会)

○式典

- ①会長表彰
 - ・民生委員・児童委員功労者 2名
 - ・社会福祉事業関係功労者 2名
 - ・社会福祉事業協力功労者 4名
 - ・高齢者、障がい者介護功労者 1名

②会長感謝状 ・社会福祉事業協力功労者 11名・2団体

○ボランティア活動発表

- ① ボランティア協力校 1校 (深見小学校)
- ② ボランティア団体 1団体 (安心院地区ボランティア連絡協議会)
- ③ ボランティア活動パネル展示

6. 広報啓発活動

社会福祉協議会に対する理解を得るため広報・啓発活動の充実を図りました。

広報誌「社協だより うさ」の発行

VOL. 39号・・・平成30年6月発行

VOL. 40号・・・平成30年9月発行

VOL. 41号・・・平成31年2月発行

ホームページの運営

社協ホームページの適時更新

(宇佐市社会福祉協議会のURL <http://www.usa-shakyo.jp>)

7. 共同募金運動の実施・配分

地域福祉を推進するために貴重な財源である赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動に積極的に取り組みました。

【募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金

期 間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	7,630,000円	7,096,825円	平成29年度募金総額 7,621,662円

(2) 歳末たすけあい募金

期 間 平成30年12月1日～平成30年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	3,500,000円	3,433,921円	平成29年度募金総額 3,525,115円

【配分実績】

(1) 赤い羽根共同募金（平成29年度募金額に対する配分金）

配分総額 4,408,000円 (配分委員会を平成30年11月7日に開催)

内訳	配分金額	配分先
高齢者福祉	415,000円	宇佐市老人クラブ連合会
障がい児・者福祉	746,000円	宇佐・院内・安心院身障協 心理リハビリ教室
児童・青少年福祉	415,000円	宇佐市認定子ども園・保育園協議会 宇佐市青少年健全育成会議、院内町育成会 長洲みんなで良い子に育てる会
母子・父子福祉	57,000円	宇佐市母子会
福祉育成・援助	2,775,000円	高齢者ふれあいサロン助成、自治会連合会、 保護司会、更生保護女性会、宇佐市婦人会

(2) 歳末たすけあい募金

配分総額 3,437,264 円 (配分委員会を平成 31 年 2 月 28 日に開催)

内訳	配分金額	配分先
歳末見舞金品	219,614 円	在宅で重度の介護を要する高齢者他
生活支援事業	624,444 円	配食サービス、友愛訪問、高齢者見守り活動
総合福祉	1,813,206 円	宇佐市民児協、宇佐市ボラ連他
災害・緊急関係	780,000 円	災害ボランティアセンター機材整備

8. 一般寄付、香典返しによる寄付

寄せられた寄付金は、福祉事業運営に大切に使用させていただきました。

	実績(件数)	実績(金額)
一般寄付	17 件	702,703 円
香典返しによる寄付	328 件	7,752,000 円

(寄付金の使途)

	金額	備考
福祉活動費	3,965,398 円	災害に強い地域づくりの構築、要援護者見守り調査・研究活動、地域福祉啓発活動
福祉バス運行管理費	319,592 円	
広報費	580,000 円	
ボランティア活動費	1,769,713 円	
生活保護繋ぎ資金	1,820,000 円	

9. 福祉バスの運行

福祉関係機関等が福祉事業推進のための会議、研修会、講習会等にバスを運行しました。

【運行実績】 年間 95 回

内訳	回数
児童福祉	20 回
高齢者福祉	24 回
障がい者福祉	19 回
ボランティア	13 回
民生委員	11 回
その他	8 回

10. 本会への苦情の状況

本会が実施している事業、サービスについて各部署に苦情受付担当者、責任者を設置し、適切に解決を図るよう努めました。

【苦情内容及び処理状況】

平成30年度苦情はありませんでした。

11. その他

(1) 職員の健康管理（定期健診の実施）

全職員（30年9月～31年1月）宇佐高田成人病検診センター

【 地域福祉部門 】

1) 地域福祉の総合推進事業

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の理念に基づき、共に考え、共に支え合い、共に生きる地域社会の推進に努めました。

(1) 福祉コミュニティの推進

- 地域コミュニティ組織「まちづくり協議会」への参加（自主事業）
生活支援サービス体制整備事業を通し、30年度は東院内まちづくり協議会に協力をいただきながら、地域の困りごとについて調査・検討を行いました。

(2) 高齢者の「健康・生きがいつくり」の推進

- 高齢者ふれあいサロンの推進（市受託事業）
地域の高齢者が歩いて参加でき、「楽しく」「気軽に」「無理なく」過ごすことができるサロンづくりを推進しました。

助成金申請数	98 か所
新規開設数	2 か所

- 地域に根ざした介護予防教室の推進（市受託事業）
住み慣れた地域で元気に健康で安心して暮らせるよう関係機関と連携して教室の拡充を図りました。

開催教室数	138 教室
介護予防ボランティア登録者数	33 名
介護予防ボランティア延べ派遣人数	669 名

- 院内地区ひとり暮らし高齢者ふれあい交流会の開催（市受託事業）
院内地区の民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会院内支部との共催で、ひとり暮らしの高齢者同士の交流を図りました。

期 日 平成 30 年 11 月 22 日（木） 11:00～
会 場 宇佐市院内文化交流ホール
参加者数 109 名

- 配食サービスの実施（院内地区）（共同募金活用事業）
年 1 回 75 歳以上のひとり暮らし高齢者、80 歳以上の高齢者世帯へ弁当を配達しました。

実 施 日 平成 31 年 3 月 6 日、13 日（2 日間）
配 食 数 274 食

(3) 認知症予防事業の推進

- 認知症予防教室の普及推進（市受託事業）
認知症は誰でも発症する可能性があります。そのために、元気なうち

から取り組むことが大切になります。市内20グループが予防のため作業療法、運動療法、料理プログラムなど実践しています。

教室数	20教室
新規開設数	1教室

(教室一覧)

安心院けんこうクラブ火曜日 (安心院)	日足認知症予防教室 (宇佐)
安心院けんこうクラブ金曜日 (安心院)	原口なかよし会 (院内)
中央いきいき会 (安心院)	下時枝けんこう教室 (宇佐)
下森山認知症予防教室 (宇佐)	高森ヘルス (宇佐)
沖けんこう教室 (院内)	麻生認知症予防教室 (宇佐)
長洲認知症予防教室 (宇佐)	金丸認知症予防教室 (宇佐)
新貝認知症予防教室 (宇佐)	松崎認知症予防教室 (宇佐)
江島認知症予防教室 (宇佐)	柳ヶ浦オレンジ会 (宇佐)
東宮認知症予防教室 (宇佐)	清水認知症予防教室 (宇佐)
新吉松認知症予防教室 (宇佐)	常徳認知症予防教室 (宇佐)

・ 視察：県内1団体 県外1団体 ・ 相談件数：89件

○ 認知症地域支援推進員による認知症啓発活動 (市受託事業)

支援推進員が中心となって、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らして続けることができるよう、関係機関と支援ネットワークを構築し、認知症の人への支援に努めました。

相談件数	97件	
啓発	40件	
講演会開催数	1回	
講演数	2回	県外1回、県内1件
模擬訓練	2ヶ所	
視察対応	2件	県外2団体
取材受入	0件	
認知症サポーター養成講座	12件	
訪問支援	68件	

○ 認知症初期集中支援チームによる支援 (市受託事業)

本会内に設置している支援チーム (認知症サポート医、看護師、社会福祉士等の専門職) が家族の訴えや相談に対応しました。

相談件数	44件
延べ訪問件数	119件
啓発活動	14回

(4) 高齢者福祉事業の推進

- 友愛訪問活動の推進（共同募金支援）
民生委員児童委員協議会の友愛訪問を支援しました。
- 老人クラブ活動の支援（共同募金支援）
老人クラブが実施する事業を側面的に支援しました。
- 旧宇佐市ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業（市受託事業）
ひとり暮らしの70歳以上の高齢者へ、乳酸菌飲料の販売員が訪問し安否確認を実施しました。

月平均対象者	10.5名
延べ訪問回数	1,493回

- 院内安心院地区食の自立支援事業の実施（市受託事業）
院内、安心院地区で栄養管理や安否確認が必要な高齢者に対して配食を行いました。

院内	1,301食
安心院	1,271食

(5) 障がい者福祉事業の推進

- 身体障害者福祉協議会活動の支援（共同募金支援）
宇佐、安心院、院内地区身体障害者福祉協議会の実施する事業を支援しました。
- 宇佐市自立支援協議会への参加
療育・教育支援部会、地域生活支援部会へ参加しました。
- 心理リハビリ教室の開催（共同募金活用事業）
脳性マヒなど肢体不自由を持つ障がい児の動作の改善を目的として実施しました。
月2回実施 年23回

- 障がい者移動支援事業（かけはし号の運行）の実施（市受託事業）
かけはし号の運行 リフト付きワゴン車 10人定員内車イス2脚 1台
リフト付きワゴン車 10人定員内車イス1脚 1台
屋外の移動が困難な障がい者・児に対して、ボランティアが安全な外出の支援をおこない、余暇を楽しく過ごすとともに、自立生活及び社会参加を促すことを目的に「かけはし号」を運行しました。

運行回数	163回
延べ利用者数	806名

(6) 子育て支援事業の推進

- うさっ子サポートセンター（市受託事業）
「育児の援助を受けたい方（おねがい会員）」と「育児の援助を行いたい方（まかせて会員）」の相互の援助活動に関する連絡調整を行い、また「まかせて会員養成講習会」を実施しました。

おねがい会員	37名
まかせて会員	34名
活動件数	92件

- 地域子育て支援拠点事業の推進（院内、安心院支所）（市受託事業）
未就園児を子育て中の保護者の方が、自宅にこもることなく気軽に参加し交流できる場、子育てを相談できる場を提供しました。

・院内 開設日 月・木・金

延べ利用者数（保護者）	762名
延べ利用者数（子ども）	830名
開設日数	142日

・安心院 開設日 火・水・金

延べ利用者数（保護者）	448名
延べ利用者数（子ども）	627名
開設日数	152日

- 子育てサロンの実施（指定管理業務）

子育て中の親子が気軽に集い、相互の繋がりや子育ての悩みなどを共有できる「ふれあいの場」として利用できるよう努めました。

・開設日 うさ児童館開館日

・相談件数 91件（内容：育児、発達、入園、家庭に関すること）

- うさ・安心院児童館の運営（指定管理業務）

児童館の設置目的に沿って、子どもたちの遊びや活動を通して、集団での遊び方などを学ぶことができるように対応しました。

・うさ児童館

1日平均利用者数	95.8名
開設日数	308日
延べ利用者数	29,531人

・安心院児童館

1日平均利用者数	36.2名
開設日数	286日
延べ利用者数	10,372人

- 放課後児童クラブ（津房地区）の支援（市受託事業）

津房地区の子育て家庭の子どもたちが、放課後に安全かつ有効に過ごせるように支援しました。

1日平均利用者数	10.7名
開設日数	257日
延べ利用者数	2,776人

(7) **黄色い旗運動の推進（市受託事業）**

玄関先などの目につきやすい場所に「黄色い旗」を掲揚することにより地域全体での見守りや安否確認ができるように黄色い旗を配付しました。

実施地区	28ヶ所（新規なし）
今年度配布数	98枚（延べ配布数枚数 3,669枚）

(8) **民生委員児童委員協議会の活動推進（共同募金支援）**

民生委員児童委員、主任児童委員と本会が緊密に連携し、地域福祉の推進を行い、また事務局として民児協の活動支援や広報・啓発に努め、主任児童委員と協働し、子どもの福祉向上に取り組みました。

(9) **生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の設置（市受託事業）**

住み慣れた地域で生活が継続できるように住民主体の支え合いの仕組み作りに取り組みました。東院内地区にてまちづくり協議会と協議しながら、生活の困りごとアンケートを実施しました。また、市内の各地区や会議など62か所で事業について周知を行いました。

(10) **地域の支え合い協議体（地区社協）の設置に向けた研究（自主事業）**

日田市社会福祉協議会を訪問し、日田市における地区社協の状況について説明を受け、意見交換を行いました。今後も地区社協について研究・調査を行っていきます。

2) 災害に強い地域づくりの推進

近年、頻発する大規模災害を想定し、災害発生時のソフト面の強化や被災者支援に迅速に機能する福祉力を有する地域づくりに取り組みました。

(1) **宇佐市災害ボランティアネットワークの運営（自主事業）**

災害ボランティアネットワークを通し、発災時には有機的に機能するように取り組みました。

第1回 災害ボランティアセンター運営訓練

平成30年6月30日（日）場所：駅館小学校体育館

第2回 講演会「玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会の取り組みについて」

平成31年3月26日（火）場所：さんさん館

(2) **災害備蓄品の整備（共募活用事業）**

災害時における、災害ボランティアセンターの運営に必要な備品、資機材などの整備を行いました。

(3) 災害時各種マニュアルの検証（自主事業）

災害ボランティアセンター運営訓練を通し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの検証、見直しを行いました。また、BCP（事業継続計画）マニュアルの策定を行いました。

3) ボランティア事業の推進

ボランティア関連の事業を推進し、ボランティア団体・個人の活動支援を行いました。

(1) ボランティアセンターの運営（自主事業）

ボランティア登録数（団体）	46団体 1,263人
ボランティア登録数（個人）	7名
ボランティア募集依頼	23件
ボランティア募集依頼者へボランティア活動者の紹介・調整	23件
ボランティア希望者への活動先紹介・調整	61件
相談受付、情報提供	6件

(2) 福祉教育の推進

教育現場での体験学習などを通じて、福祉の心を醸成しました。

○ 出前教室の実施（市内小・中学校）（市受託事業）

点字教室	13回
手話教室	7回
車いす体験	2回
アイマスク体験	2回
ふうせんバレーボール	1回
講話	0回

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援及び連携（共募活用事業）

ボランティア連絡協議会の事務局として、活動の支援及び助成を行いました。また、協働・連携して「第14回うさ福祉フェスタ」を開催しました。

*平成30年度宇佐市ボランティア連絡協議会総会

日 時：平成30年6月29日（金）13：30～

場 所：宇佐市安心院総合保健福祉センター 集会室

研修会：避難所運営ゲーム（HUG）

*環境美化活動

日 時：平成30年9月25日（火）8：00～9：00

場 所：泣き別れ峠周辺道路

*福祉分野研修会

日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金） 7：45～19：20

場 所：国立療養所 菊池恵楓園

(4) 夏のボランティア体験月間の実施（県社協統一事業）

市内の保育園、福祉施設等の協力を得て、ボランティア活動のきっかけづくりを目的に行いました。

参加者	60名
協力施設	37施設

(5) ボランティア協力校の指定と活動支援（市受託事業）

長峰小、宇佐小、封戸小、深見小、安心院小、院内中学校

宇佐産業科学高等学校 計 7 校

1 年間指定 1 校につき 4 万円の活動助成金を交付

(6) エコキャップ運動の推進（自主事業）

市内の個人及び団体よりエコキャップを収集し、イオン九州株式会社を通じて支援団体に寄付しました。

収集量	3402. 2kg
ポリオワクチン	850人分

(7) 点字講習会の実施（市受託事業）

応用編 月2回実施 年20回（会場：社協本所会議室 受講者1名）

(8) 住民参加型有償サービス「おんもらと」の運営（共募活用事業）

低所得の高齢者に対して、買い物や家事、家の周りの環境整備などを実施しました。

協力会員	4人
利用者	17名
活動件数	34件
活動人員	34名
延べ活動時間	131. 5時間

(9) その他（一部共募活用事業）

ボランティア活動中の事故に備えて、各種ボランティア保険の加入促進を行いました。

ボランティア活動保険	985名
ボランティア行事用保険	59行事

ふれあいサロン・社協行事傷害補償	延べ14,564人
------------------	-----------

4) 生活困窮者支援の充実

生活保護に至る前の生活困窮者が生活困窮状態から早期に脱却する事を支援するため、生活困窮者自立支援法に基づき、本人の状態に応じた包括的な相談支援等を実施すると共に地域での自立・就労支援等の体制を構築しました。

(1) 生活困窮者自立支援事業の実施 (市受託事業)

相談者数	43名
・その他生活困窮者支援	
フードバンク利用者数	16名
生活保護つなぎ資金件数	30件

5) 高齢者・障がい者の権利擁護事業の推進

(1) 日常生活自立支援事業「あんしんサポートセンター宇佐」の運営
(県社協受託事業)

認知症等により判断能力が不十分になった方や支援を必要とされる高齢者、知的・精神障害のために支援を必要とされる方へ、関係機関との連携を図りながら福祉サービス利用や金銭管理の援助を行いました。

利用者数	79名
延べ活動件数	1,135件
生活支援員	4名

(2) 権利擁護人材育成事業の実施 (市受託事業)

社会貢献に意欲をお持ちの市民の方に、同じ市民の目線からその方らしい生活を送れるよう、貢献活動を担ってもらう「市民後見人」を養成しました。

受講者数：32名 修了者数：32名
 宇佐市民後見人推進検討会：2回開催
 (1回目：7月20日 2回目：1月18日)
 成年後見制度啓発講演会の開催：3月21日 286名参加

【 在宅福祉部門 】

1) 在宅福祉サービスの充実

高齢者や障がい者が可能な限り家族や地域に囲まれて生活が送れるよう、利用者の尊厳を守り、適切なサービスの提供に努めました。また、サービス提供事業所として関係法令を遵守した管理運営に努めました。

(1) 居宅介護支援事業の実施（介護保険事業）

ケアプラン作成数	1,237件
----------	--------

- ・ サービス利用に係るモニタリングの実施
- ・ サービス担当者会議の実施
- ・ 圏域ケア会議への参加

(2) 訪問介護事業の実施（介護保険事業）

延べ利用者数	391名
延べ訪問回数	2,952回

- ・ 連絡調整会議の開催（月1回）
- ・ サービス担当者会議への参加

(3) 通所介護事業の実施（介護保険事業）

（院内町老人デイサービスセンター）

一日平均利用者数	18名
開設日数	256日
延べ利用者数	4,628名

（安心院町老人デイサービスセンター）

一日平均利用者数	16名
開設日数	256日
延べ利用者数	4,150人

- ・ デイサービスだよりの発行
- ・ サービス担当者会議への参加

(4) 障がい者居宅介護・同行援護事業の実施（障がい者総合支援事業）

延べ利用者数	58名
延べ訪問回数	392回

(5) 障がい者生活介護事業の実施（障がい者総合支援事業）

1日平均利用者数	9名
開設日数	256日
延べ利用者数	2,227人

(6) 障がい者相談支援事業の実施（障がい者総合支援事業）

平成30年10月1日より、院内支所に開設

担当数	6名
-----	----

(7) 福祉用具の貸与（自主事業）

品目	本所	院内支所	安心院支所
車イス	56件	7件	6件

2) 院内圏域地域包括支援センターの運営（市受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、介護保険サービスのみならず、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動、支え合いなどを有機的に結び付け、また高齢者の心身の状態の変化に応じて総合的に支援し、ワンストップサービスの拠点として対応しました。

(1) 予防給付・介護予防事業のケアマネジメント業務の推進

- ・特定高齢者の把握

(2) 総合相談支援業務の推進

総合相談の実施及び支援

電話による相談	276件
来所による相談	80件
訪問による相談	135件

- ・関係者による「院内圏域地域包括ケア会議」の開催：5回
- ・介護予防教室や高齢者ふれあいサロンへの参加
- ・地域組織への支援
- ・介護予防に関する講演会の実施
- ・権利擁護に関する業務
- ・介護支援専門員への支援

(3) 指定介護予防事業の実施

介護予防プランの作成と評価

※事業実績状況については（資料）をご参照ください。

(4) 地域ネットワークの構築

- ・虐待防止
- ・災害時高齢者支援
- ・認知症対策の推進
- ・医療と介護、福祉の連携

(5) 学生の実習受け入れ

柳ヶ浦高等学校 看護学科

- ・平成30年5月29日～6月1日 2名
- ・平成30年6月 5日～6月8日 2名

3) 要介護認定調査（市受託事業）

介護支援専門員資格を有する職員が介護保険要介護認定調査員の業務に従事しました。

(別紙)

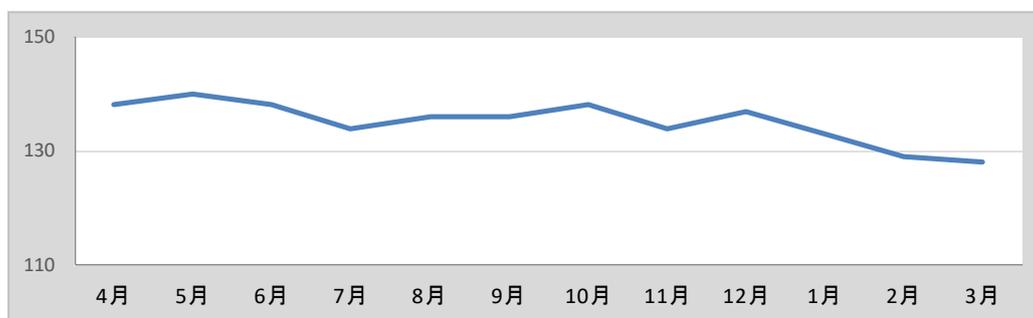
1. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

① ケアプラン作成件数(月別)

【院内】

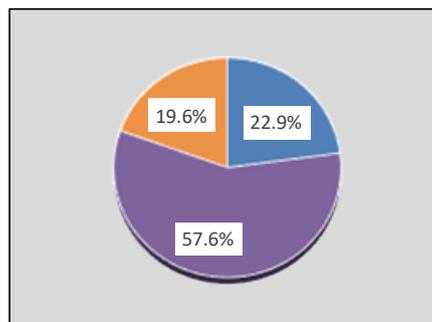
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアマネ	4人												
介護	102	106	102	99	103	103	108	104	108	107	105	103	1,250
予防(委託)	36	34	36	35	33	33	30	30	29	26	24	25	371
計	138	140	138	134	136	136	138	134	137	133	129	128	1,621
一人平均	30	31	30	29	30	30	31	30	31	30	29	29	30



② 要介護別延べ利用者数(年間)

【院内】

	事業 対象	要支援		要介護 1.2		要介護 3.4.5			計
		1	2	1	2	3	4	5	
利用者数	14	167	190	555	378	183	85	49	1,621
割合(%)		22.9%		57.6%		19.6%			

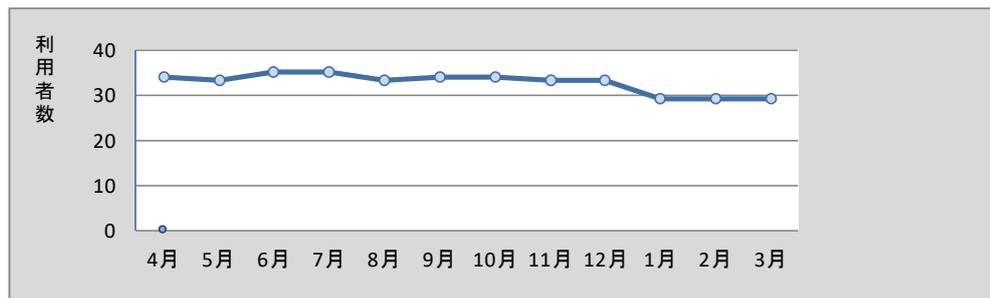


(2) 訪問介護事業

① 利用者数及び訪問回数(月別)

【院内】

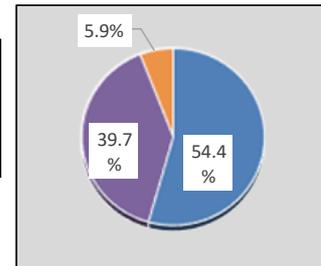
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(介護)													
利用者数	14	13	13	14	13	13	12	12	13	11	11	12	151
訪問回数	118	122	116	115	113	106	118	108	99	101	106	125	1,347
(総合事業)													
利用者数	20	20	22	21	20	21	22	21	20	18	18	17	240
訪問回数	130	141	150	152	132	134	166	147	128	111	111	103	1,605
(計)													
利用者数	34	33	35	35	33	34	34	33	33	29	29	29	391
訪問回数	248	263	266	267	245	240	284	255	227	212	217	228	2,952



② 要介護別訪問回数(年間)

【院内】

	事業 対象	要支援		要介護 1.2		要介護 3.4.5			計
		1	2	1	2	3	4	5	
訪問回数	132	472	1,002	782	391	167	7	0	2,953
割合(%)		54.4%		39.7%		5.9%			



(3)通所介護事業

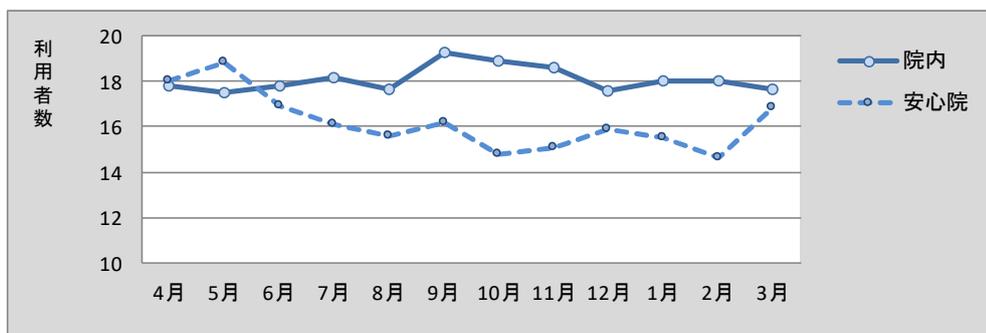
①延べ利用者数(月別)

【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	268	291	269	282	274	255	286	265	219	229	218	236	3,092
総合事業	105	112	104	118	132	130	148	145	133	132	143	134	1,536
計	373	403	373	400	406	385	434	410	352	361	361	370	4,628
稼働日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
1日平均	18	18	18	18	18	19	19	19	18	18	18	18	18

【安心院】

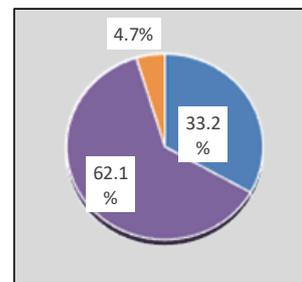
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	246	280	225	223	219	190	192	184	180	175	167	195	2,476
総合事業	133	153	130	132	140	134	148	148	137	135	126	158	1,674
計	379	433	355	355	359	324	340	332	317	310	293	353	4,150
稼働日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
1日平均	18	19	17	16	16	16	15	15	16	16	15	17	16



②要介護別延べ利用者数(年間)

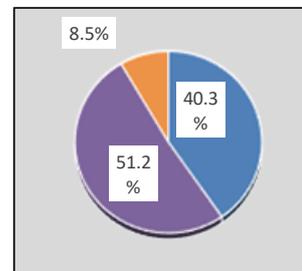
【院内】

	事業対象	要支援		要介護 1.2		要介護 3.4.5			計
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	412	428	696	2,100	774	128	85	5	4,628
割合(%)		33.2%		62.1%		4.7%			



【安心院】

	事業対象	要支援		要介護 1.2		要介護 3.4.5			計
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	732	616	326	1,185	940	243	96	12	4,150
割合(%)		40.3%		51.2%		8.5%			

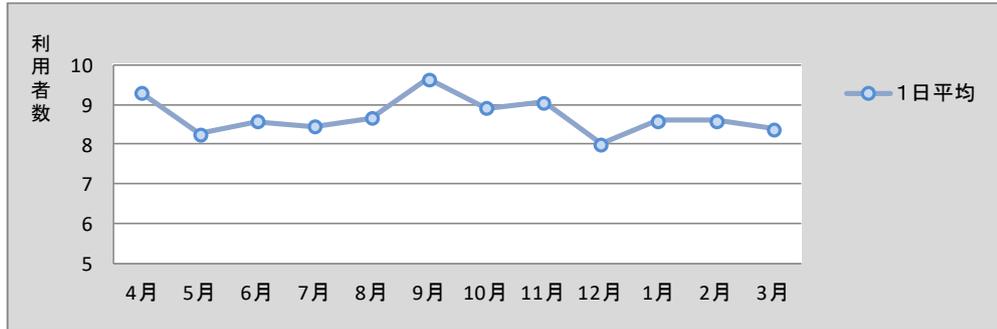


2. 障がい者自立支援事業

(1) 障がい者生活介護センター

① 延べ利用者数(月別)

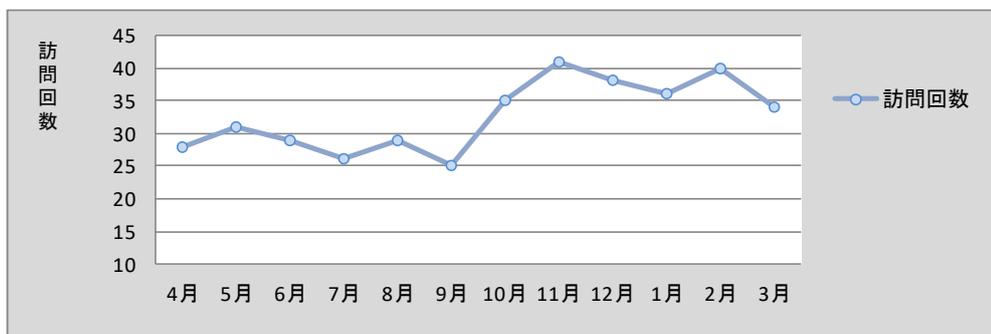
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人員	18	17	19	18	19	19	19	19	18	18	18	18	220
延べ利用者	195	190	180	186	199	193	205	199	160	172	172	176	2,227
稼働日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
1日平均	9	8	9	8	9	10	9	9	8	9	9	8	9



(2) 障がい者居宅介護・同行援護

① 利用者数及び訪問回数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	4	4	4	4	5	6	6	6	6	5	58
訪問回数	28	31	29	26	29	25	35	41	38	36	40	34	392



3. 受託事業事業

(1) 児童館

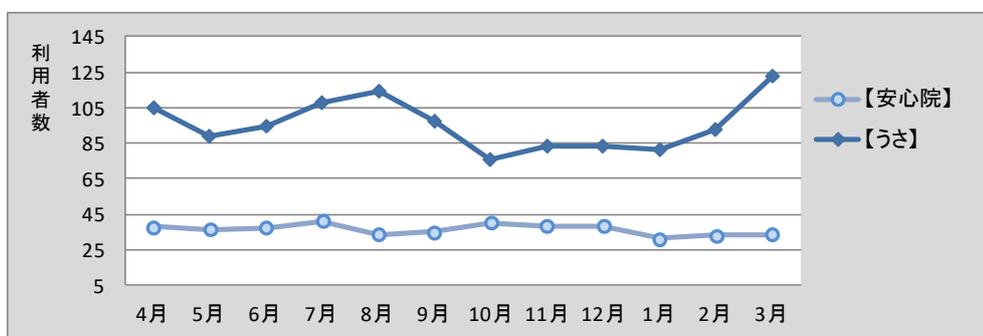
① 延べ利用者数(月別)

【安心院】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者	909	871	974	947	832	768	964	916	877	720	759	835	10,372
稼働日数	24	24	26	23	25	22	24	24	23	23	23	25	286
1日平均	38	36	37	41	33	35	40	38	38	31	33	33	36

【うさ】

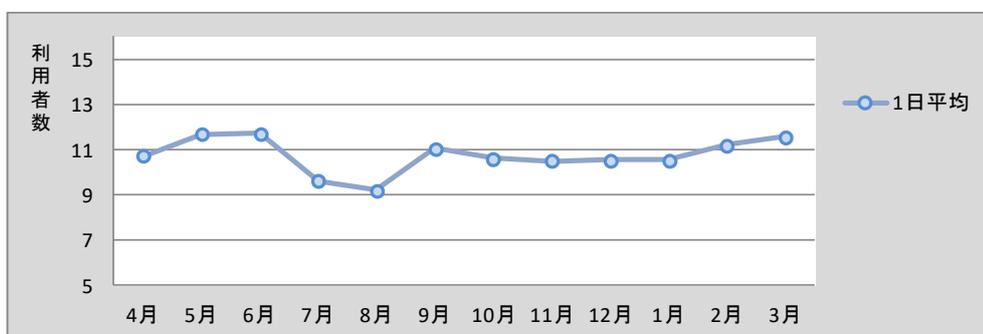
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者	2,714	2,317	2,454	2,798	3,096	2,523	1,967	2,171	2,001	1,953	2,220	3,317	29,531
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
1日平均	104	89	94	108	115	97	76	84	83	81	93	123	96



(2) 放課後児童クラブ

① 延べ利用者数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者	225	245	258	231	212	221	244	231	221	221	224	243	2,776
稼働日数	21	21	22	24	23	20	23	22	21	21	20	21	259
1日平均	11	12	12	10	9	11	11	11	11	11	11	12	11



(3) 児童館型子育て支援拠点事業(安心院)

①延べ利用者数(月別)

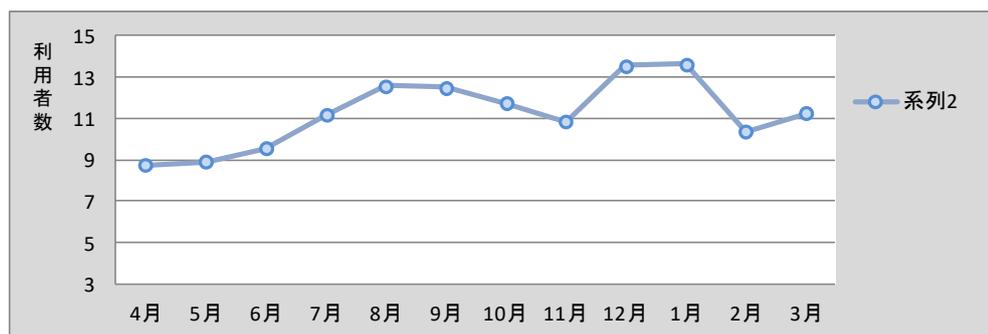
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者 (保護者)	28	21	24	28	41	21	47	42	51	37	44	64	448
延べ利用者 (子ども)	31	23	27	39	53	34	80	60	80	59	56	85	627
開設日数	12	13	13	13	14	12	14	12	12	12	12	13	152
1日平均	5	3	4	5	7	5	9	9	11	8	8	11	452



(4) 子育て支援拠点事業(院内)

①延べ利用者数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者 (保護者)	51	47	60	63	85	61	64	66	73	72	55	65	762
延べ利用者 (子ども)	54	51	64	71	91	64	77	75	76	78	59	70	830
開設日数	12	11	13	12	14	10	12	13	11	11	11	12	142
1日平均	9	9	10	11	13	13	12	11	14	14	10	11	768

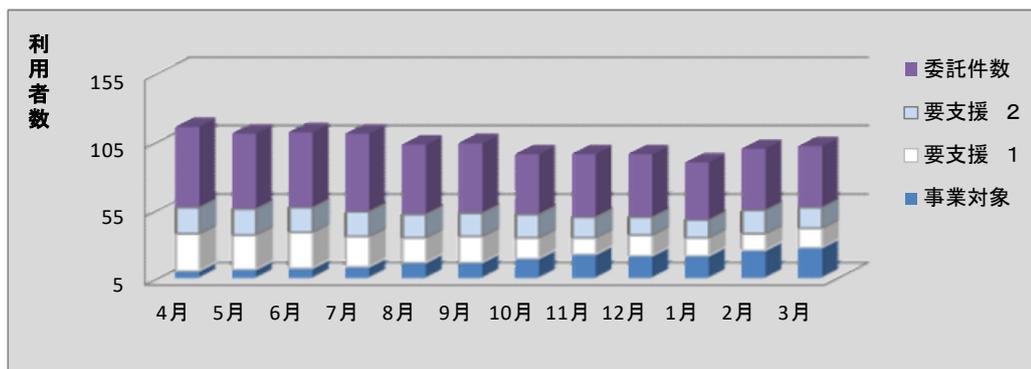


4. 院内圏域地域包括支援センター

(1) 介護予防支援事業

① ケアプラン作成件数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象	11	12	13	14	17	17	20	23	22	22	26	28	225
要支援 1	27	25	26	22	18	19	15	12	15	13	12	14	218
要支援 2	19	19	18	18	17	17	17	15	13	13	17	15	198
委託件数	59	55	55	57	51	51	44	46	46	42	45	45	596
計	116	111	112	111	103	104	96	96	96	90	100	102	1,237



② 相談援助実績(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(相談形態)													
電話	22	30	27	41	29	15	25	14	21	30	6	16	276
来所	15	8	6	6	9	7	3	3	7	8	1	7	80
訪問	17	24	15	14	15	8	10	5	9	8	6	4	135
計	54	62	48	61	53	30	38	22	37	46	13	27	491
(相談内容)													
介護保険	25	25	25	15	30	12	16	7	23	42	9	18	247
保健福祉サービス			20		18	4			8	3	2	3	58
その他	30	37	3	46	6	14	23	13	7	2	2	6	189
計	55	62	48	61	54	30	39	20	38	47	13	27	494

